



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄復帰準備委員会（代表代理会議）（昭四五年三月 外務省外交史料館レファレンス番号：H220734）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.2 公開日：平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号：A'.3.0.0.7-1(177) CD・DVD番号：H22-005
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43740
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

昭
四
五
年
三
月

ソカ 万大 備販
 大臣官署審長長
 備販 典房
 備販 専計
 備販 高給
 国参調析企
 長領移長
 ア参地中東
 長北西
 備販(北西)
 中南審歌
 参西東洋
 長西東
 近ア参審近ア
 長(次)総経国万
 長経協長条
 参賛法三
 参政技二
 国一理
 参参協別
 長国参政総科
 長信長文長
 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 12024 主管
 70年3月15日15時45分 ナハ 発着
 70年3月16日20時15分 本省 米北1
 外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会

才29号 平 秘扱
 準備委員会の運営に関し、米琉と下記の如
 きノ案をもつて話し合いたさところ右につ
 いて、及びその内容について貴見至急何分
 の儀回電ありたい。

記

「準備委員会の運営について」

1. 会議

- (1) 委員会の開催日
 1. 準備委員会(以下単に会議と言う)は
 毎月1回才〇〇日に定例会議を開催する

1244

才
P
本

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ほか必要に応じ随時会議を開催するものとする。
 口、定例会議開催予定日が、日米琉いづれかの休日に当る場合には、会議は順延するものとする。
 (2) 開催場所
 委員会の会議はT60の会議室において開催する。
 (3) 会議の公用語
 委員会の公用語は日英両国語とする。
 (4) 代理出席
 代表又は顧問が止むを得ない事情により出席出来ない時は、代表代理または顧問代理を出席させることが出来る。
 (5) 委員会の陪席者の範囲
 委員会には別段の決定をしない限り、各代表または顧問は6名を越えない数の補助
 — 2 —

秘

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

要員を陪席させることが出来る。また、補助要員外の者の参加につき決定することが出来る。

(6) 会議の非公開

委員会の会議は別段の決定をしない限り非公開とする。

(7) 会議の記録作製

委員会は別段の決定をしない限り会議の記録を作製する。

2. 準備委員会の組織

(1) 代表代理の会議

代表代理及び顧問代理は毎週火曜日及び金曜日に定例会議を開催するほか、必要に応じて随時臨時会議を開催するものとする。

(2) 小委員会の設置

委員会の活動を補佐せしめるため各委員及び顧問の補助要員の中から指名された者

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

をもつて小委員会を設置するものとする。

(3) 合同事務局の設置

イ. 委員会は会議の準備、記録の作製、保管、賤務などの事務を処理させるため合同事務局を設置する。

ロ. 合同事務局は1名の事務局長と委員会が必要と認められた数の関係政府から提供された取員で構成する。

ハ. 合同事務局は委員会の支持を受け所掌事務を処理する。

(了)

ソカヒ 万大 博販

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

459

天政導外外儀官
務次典房
臣官官審審長長
儀総人厚世
儀審文一營給
国資長領移長
参調折企
参領旅移

ア 参地中真
長 北東西
参北保
中南審歌
参西東洋
西惠

近ア 参書近ア
長 次総経国万
長 参質統
長 参政技二
長 参余協規
長 参政経科
長 参道内外
長 参道内外
長 参道内外

総番号(TA) 14320 主管
70年3月27日14時15分 十ハ 発着 米北1
70年3月27日17時07分 本省
外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オノ一回代表代理会議

オノ4号 平
往電オ36号に因り、
定例会議後代表代理会議(シゴット、豊陽
瀬長出席)を開行し、24日のオノ一回代表会
議で合意された「代理会議において検討せ
しめる事項」につき討議した結果
(1) 共同経費、合同事務局などの共通問題
につき具体案を作成し次回の会議に報告
出来るよう努力する。
(2) 海防委員会の仕事計画、万葉会設置

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ルツツでは(ブレイン・イグザサイズ)
の意味合いも兼ねてローカルの立場から
の構想につき検討を加え4月中旬までに
対案を得ることへ合意した。

なお登陽より関係協及Wコンユムの方面の
暫定日程につき27日改定の情報ターメ
を公開しておいた。

次回は4月7日。

(3)

- 2 -

ソカヒ 万大 博阪

注意

- 1. 本電の取扱は慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管が他については検閲班に連絡ありた。

調査班 査閱班 放務班
 検査班 査閱班 漢字班
 査閱班 査閱班 漢字班

大政事外外備官
 務次 典房
 臣官審察長長
 儀總人電厚計
 儀文 高給
 儀資

電信写

282

総番号(TA) 14306 主管
 70年3月27日12時04分 ナハ 雅着 電
 70年3月27日15時27分 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

国資長 領移長
 参調折企
 参領旅移

ア 参地中東
 参北東
 参北北保
 参西東洋
 参西東
 参近ア
 次総経國万
 参賓統
 参政技二
 参条協
 参政蘇科
 参社
 参道内外
 一二

諸同年及び準備年電公信番号の区別
 訂正

号外 年

3月24日および25日日本使館貴大臣あ
 りて往電才36、37、38号存50K26日
 の往信才18号は諸同年代表電とてマの
 号数と存マあり、準備年電は作ハ従来
 の号数と区別すべく、往電は各々準才入ス
 3号とマ長往信は準才1号とてマ処理
 ありたい。

(3)